（別添資料１）

事業所名　デイサービス　にこにこ庵

# 支援プログラム（参考様式）

作成日　令和7 年 3 月 1 日

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | 利用者様の自信、楽しみ、希望に繋がるサービスを提供します。 | | | | |
| 支援方針 | １。人は笑顔で対応していていただくと、ホッとするものです。利用者に安堵して頂くためにおもてなしの心で笑顔を絶やさないように致します。２。心穏やかに日常生活を暮らしていける様に信頼関係を築きます。３．利用者様の笑顔が見れるように、みんなで考え、助け合い、学び合い、チームを形成いたします。 | | | | |
| 営業時間 | 9 時 00 分から 18 時 00 分まで | | 送迎実施の有無 | （あり） なし | |
| | 支　援　内　容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・ご家庭からの申し送り、送迎時、来所時の様子を把握し共有します。<br>・衣類の脱着、持ち物の整理など、身の回りの基本的生活習慣の自立ができるよう支援します。<br>・身の回りを清潔にし、排泄等の生活に必要な基本的技術を身に付けられる様に支援します。（生活面では、家族との連携を図り支援を行います） | | | |
| | 運動・感覚 | ・姿勢と運動を意識して、五感を十分に活用できるような運動、遊びを行います。<br>・感覚の特性　過敏　鈍麻へ対応し、感覚遊びを行います。<br>・音楽リズムあそびでは、自分の身体をイメージ出来るように支援します。 | | | |
| | 認知・行動 | ・お話を楽しみ、季節やルールを感じられるような支援をします。<br>・情報を聞いて、行動へつなげるというゲームや遊びを行います。<br>・手触り、大きさ、色などの違いに気付き、感覚や認知の基礎がわかるあそびを行います。 | | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | ・関わりあそび、体験活動を通じて、具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける等、体験的言葉の習得が出来るように支援します。<br>・人との係わりの中で、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりするなど、言葉を受容し表出できるように支援します。 | | | |
| | 人間関係<br>社会性 | ・信頼感を育み、感情や不安に寄り添い、周囲の人との安定した関係を継続するための支援を行います。<br>・指導員や他利用者様を介在して、気持ちの情動の調整ができるように支援します。<br>・集団の中で、参加するための手順やルールが理解できるように支援します。 | | | |
| 家族支援 | ・気になる事があれば保護者に報告し、聞き取りを行います。<br>・課題についての気ずきを促し、家庭と連携してその後の支援に生かします<br>・関係者、関係機関との連携による支援体制を構築していきます。 | | 移行支援 | ・情報提供や支援を行います。<br>・発達の評価を行い、保護者の意向や確認の状況共有を行います。<br>・就学に向け、支援体制を構築していきます。 | |
| 地域支援・地域連携 | ・保育園、幼稚園、地域、福祉サービス等と連絡を取り、情報共有していきます。 | | 職員の質の向上 | ・日々の振り返りを大切にし、毎月の研修や勉強会を実施します。<br>・外部研修を受講し、特性に応じた対応等、職員の資質向上に努めていきます。 | |
| 主な行事等 | 毎月のイベント（お正月、節分、ひな祭り、お花見、こどもの日、母の日、父の日、七夕、夏祭り、敬老の日、お月見、運動会、ハロウィン、紅葉、クリスマス） | | | | |